

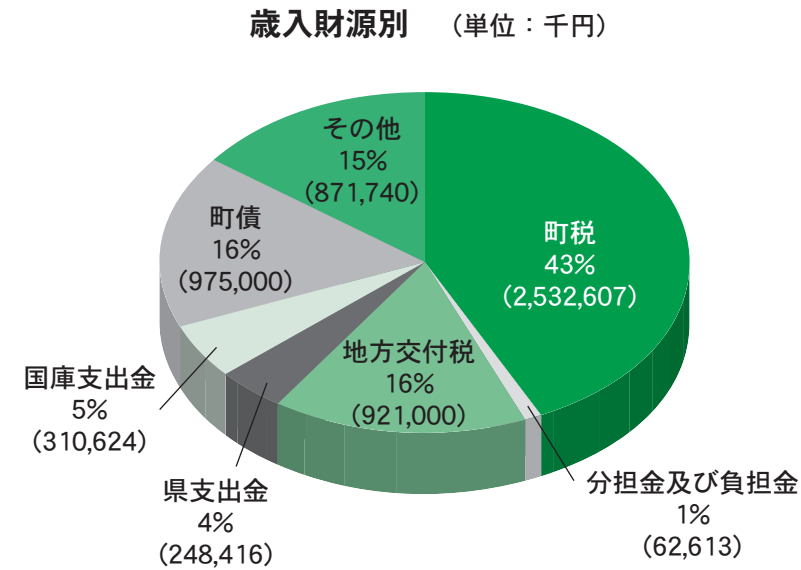
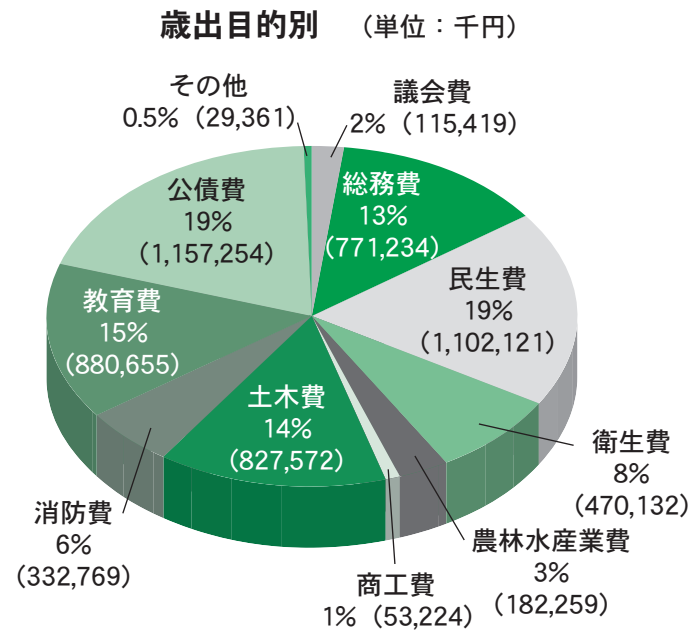
# 平成16年度 一般会計当初予算

# 59億2,200万円

(前年度比 +2.6%、実質-3.6%)

**町民一人当りの額**  
(2月1日現在)

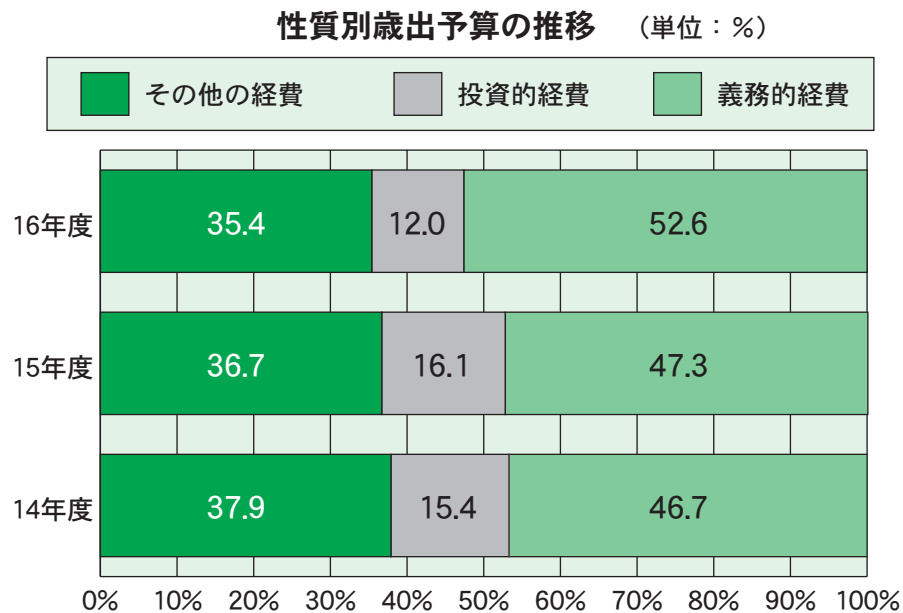
- 世帯数 6,567世帯
- 人口 19,280人
- 307,158円/1人
- 901,782円/世帯
- 公債費償還金(借金返済金) 60,024円/1人



社会を反映して緊縮予算  
一部の企業では景気回復の兆しが見えたとは言え社会一般では未だに先行き不安の環境にあります。そうした社会環境を反映して新年度の一般会計予算は緊縮予算となります。

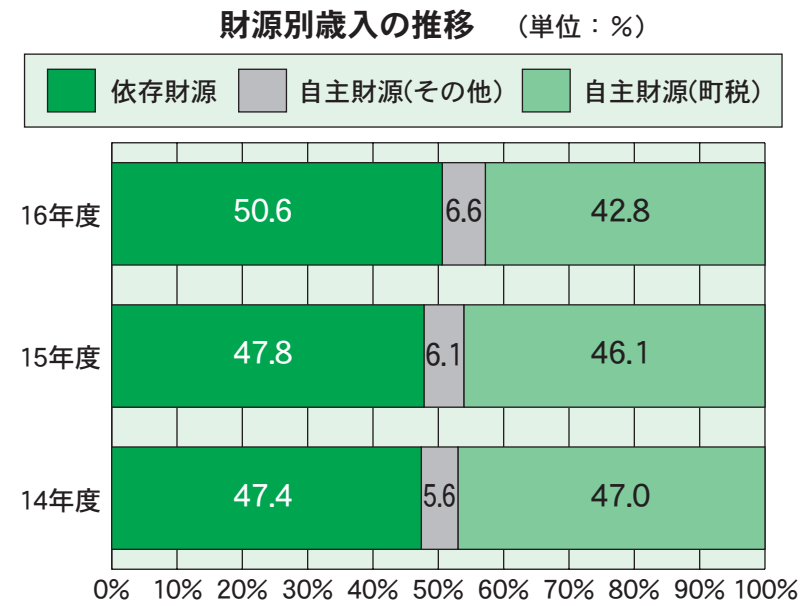
数字の上では昨年度比二・六%の伸びになっていますが借り換え町債が三億六千万円ありますので、実質的には昨年度比三・六%のマイナスになっています。

- 平成16年度の主な事業**  
(昨年度からの繰り越し事業含む)
- ①無名沼下(越畑)排水路工事
  - ②市野川第一地区幹線農道整備工事(役場下南側道路 志賀地区)
  - ③道路改築工事 町道杉山164号線(役場下南側道路 杉山地区)
  - ④志賀小学校 耐震大規模改修事業
  - ⑤平沢土地区画整備事業
  - ⑥嵐山北部地区 県営ほ場整備事業
  - ⑦吉田集会所駐車場 法面工事
  - ⑧歩道設置工事 町道2-9号(杉山地区越道下側交差点付近)
  - ⑨道路改築工事 町道1-22号(菅谷寄居線と深谷嵐山線を結ぶ道路)
  - ⑩測量設計(仮称)川島唐子線
  - ⑪菅谷公園内水遊び場 設置工事
  - ⑫菅谷小学校門扉設置工事
  - ⑬菅谷中学校門扉設置工事
  - ⑭道路改築工事 町道大蔵145号線



**歳出**  
その町の予算の中で新事業や大きな事業がどのくらい行われているか、即ちその町の活性化を表すバロメーターとして投資的経費率があります。嵐山町では昨年度までは十五%と十六%あったものが今年には十二%に減っていました。従って本年は財政難から大きな新事業もありません。その中で志賀小の耐震改修や菅谷公園内水遊び場の設置、一の二十二号線(菅谷寄居線と深谷嵐山線のバイパス)の道路工事等が実施されます。

これら自主財源比率や投資経費率を考へても強い自治体を作る必要があります。



**歳入**  
その町の豊かさを表す一つの指標として予算全体に対して町税等の自主財源比率があります。嵐山町では昨年度まで五二・五三%あったものが、今年には四九・四%となり半分以下が依存財源(国や県からの交付税や補助金及び町債等)に頼わざるを得なくなりました。しかし国の交付税も昨年度比▼六九〇〇万円(▼七%)と減額されています。その分を現状維持の為に仕方なく九億七五〇〇万円の町債(借金)を発行せざるを得ない状況にあります(前年比十五・八%増)。

**平成16年度嵐山町予算一覧**

(単位:千円 %)

区分	平成16年度		
	予算額	伸び率	
一般会計	5,922,000	2.6	
特別会計	国民健康保険	1,432,183	7.2
	老人保健	1,061,381	△4.1
	介護保険	678,017	7.8
	下水道事業	527,000	△8.3
	小計	3,698,581	1.4
公営企業会計	水道事業 3条予算(収益的予算)	598,583	△1.8
	水道事業 4条予算(資本的予算)	330,304	△4.1
	小計	928,887	△2.6
合計	10,549,468	1.7	